

# 舌下免疫療法について

アレルギー免疫療法（現在アレルギー症状を根本から治すことができる唯一の治療法）

- 食物アレルギーの食物負荷
- 注射による皮下免疫療法
- 舌下免疫療法（ダニアレルギー&スギアレルギー）

## <治療の流れ>

### 1 診断

舌下免疫療法を開始するには、ダニまたはスギのアレルギーであることを確認する必要があります。過去にアレルギー検査を受けており、検査結果を確認できる資料がある場合は、その結果をもとに診断します。過去に検査を受けていない場合、または検査を受けていても結果を確認できる資料がない場合は、当院で血液検査を行います。

### 2 初回投与の予約

初回投与は、診察室で行います。初回投与時には、継続して使用する治療薬とは異なる初回投与用の治療薬を使用するため、予約制とさせていただきます。ご予約は、**月曜日を除く平日の午前中**にお願いいたします。初回投与後は、ほとんどの方が特に問題なく終了しています。当院でも、これまでに重い副反応を経験したことはありませんが、ごくまれに強い副反応が起こることがあります。当院では、万一の際に備えて市立東大阪医療センターと連携し、緊急時に対応できる体制を整えています。入院など、より専門的な対応が必要となった場合には、同院で対応していただくこととなります。このような緊急時のバックアップ体制を確実に整えるため、初回投与は上記の日時でのご予約をお願いしております。

初回投与用の治療薬は、出荷状況により、時期によっては入手が難しい場合があります。ご希望の方は、まずは受付までお声がけください。

### 3 初回投与

初回投与用の治療薬を、診察室で医師の確認のもと服用していただきます。服用後は、**30 分間、院内で経過を観察します**。30 分経過後、特に異常がなければご帰宅いただけます。次回は、**初回投与から 1 週間以内に受診**してください。その際に、副反応の有無や症状などを確認したうえで、2 週目以降に使用する治療薬を処方します。その後は、原則として 1 か月ごとの受診となります。

### 4 継続・中止・終了・再開

副反応が強く出た場合でも、症状に応じて治療方法を調整しながら、治療を継続できる場合があります。治療の継続方法については、医師からご説明しますので、自己判断で中止せず、まずはご相談ください。治療期間は、原則として 3～5 年の継続が推奨されています。治療による効果が認められる場合は、上記期間の継続をお勧めしています。治療の中止や終了を希望される場合も、お気軽に医師へご相談ください。

## <副反応>

治療開始後、口の中（特に舌の下）、唇、舌、耳の中などのかゆみ、のどの違和感、鼻症状、唇などの粘膜の腫れなどがみられることがあります。程度が軽い場合には、症状に応じた治療を行いながら、治療を継続できることがあります。治療を続けるうちに、これらの症状が軽くなることもあります。気になる症状がある場合は、自己判断で中止せず、医師にご相談ください。また、ごくまれに、じんましん、嘔吐、腹痛、下痢、喘息発作などの症状がみられることがあります。症状によっては、治療を中止する場合がありますので、その際は医師にご相談ください。